

絵／写真

思い出しに残る食べ物や食事

おいしいものをおなかいっぱい食べたい。
 安全で栄養のある食事で健やかに暮らしたい。
 大切な人と楽しく食卓を囲みたい。
 それは、世界中どこに住んでいても変わらない、とても自然な感情です。
 人は誰でも、どこに住んでいても、「食べる」「食へる」「食へられる」権利を
 生まれながらにもっています。
 しかし、世界には十分に食べることができない人たちがいます。
 世界では、すべての人が十分に食べられるだけの食料が生産されているのです。
 すべてのひとびとが、食べるよるこびを味わえる世界にするために。

あなたがそのメッセージを届けてみませんか。

まずは、あなたの食べるよるこびを見つめることから始めませんか。

そして、あなたの「食」を支えてくれる大切な人へ、

留学から帰った後の
お母さんの料理が……

「おいしい」から
始まる会話が
あれば……

農家 (東アフリカ・ウガンダ)

レストラン (千葉)

私は
蒸したヤマイモが
一番好きです……

このメッセージカードは、こちらのページから印刷してお使いいただけます。
学校授業やイベントなどでもご活用ください。

<https://www.hungerfree.net/download/message.html>

デザインボランティア: mill design studio 作成協力: 坂田さんちの農園、十勝ツトリア カステロ/電通

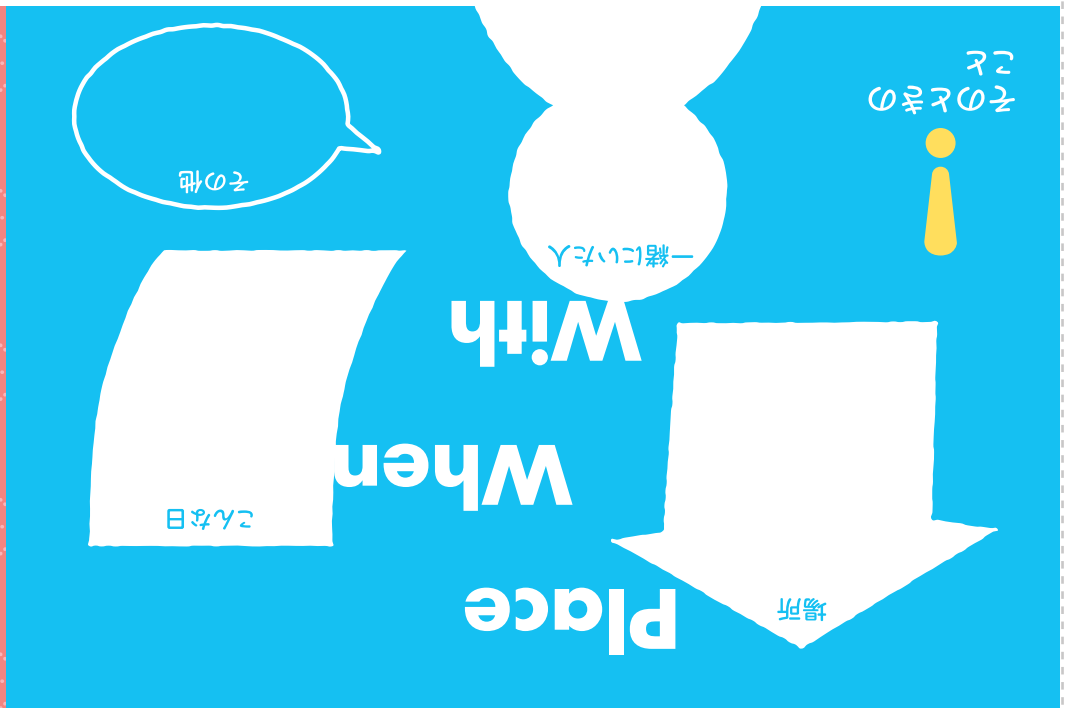
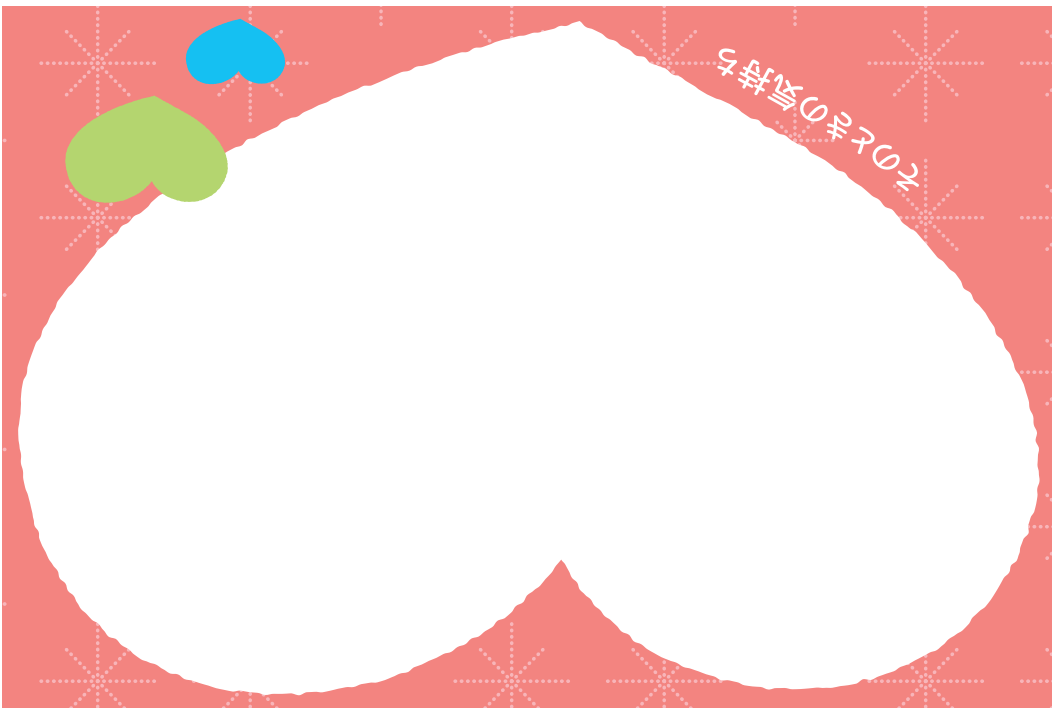
大切な人に感謝を伝える
メッセージカード

Dear

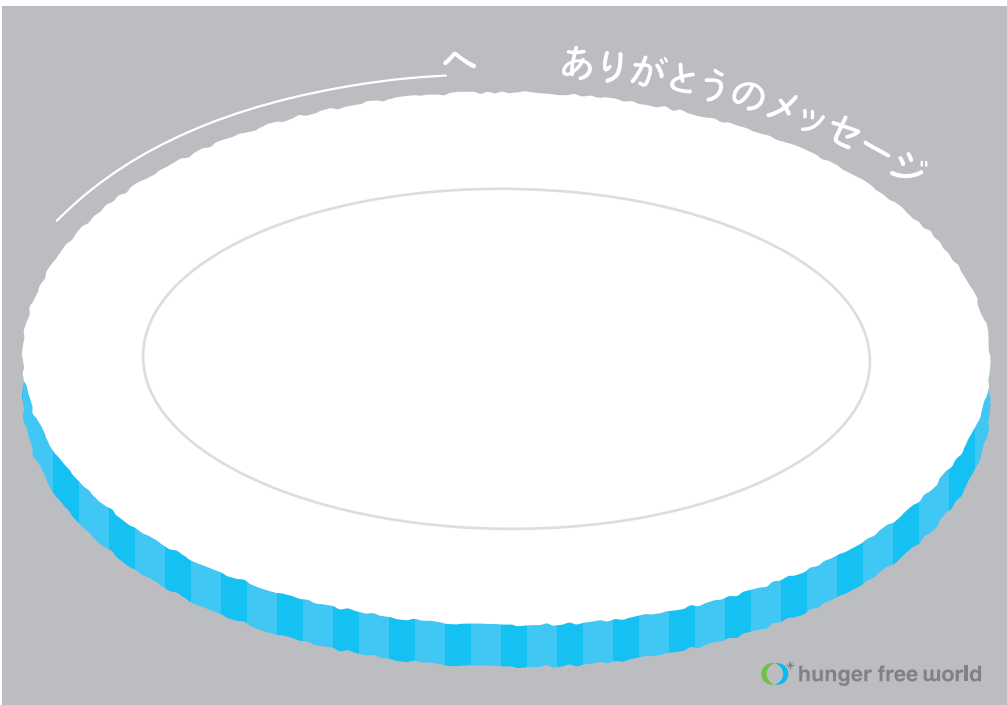
いただきます
と
ごちそうさま
を
ありがとう

From

hunger free world



のりしろ



私にとっての「食」

いろいろな人が「食」への想いを語ってくれています。
動画で見てみましょう。

HFW 私にとっての食 🔍

大学生 (東京)

このときほど
食べることの大切さを
実感した日は……

農家 (茨城)

食べてくれる人とは
近い存在で
ありたい……

お母さん (西アフリカ・ブルキナファソ)

食べる、生きる、明日を育む。

世界には十分な食べ物があるのに、今も10人に1人が“慢性的な栄養不足”＝“飢餓”に苦しんでいます。

ハンガー・フリー・ワールド（HFW）は、飢餓に苦しむひとびとの「食べる」を取り巻く環境を変えていき、「生きる」力を育むことで、世界の「明日」へとつなげていく国際協力NGOです。

食べ物を送るといった緊急支援も大切ですが、

HFWでは、住民たちが自分の力で食べ物を得られるしくみや地域づくりに取り組んでいます。

 hunger free world

特定非営利活動法人ハンガー・フリー・ワールド
〒102-0072 東京都千代田区飯田橋4-8-13山商ビル8階
TEL: 03-3261-4700 FAX: 03-3261-4701
(平日 10:00-18:00)
E-MAIL info@hungerfree.net
URL <https://www.hungerfree.net/>



1. 地域をつくる

飢餓の背景には、農業の生産性が低い、教育を受けられないなどの「地域ごとの課題」があります。そのためHFWは、栄養改善、教育、保健衛生、収入創出、ジェンダー平等の推進、環境の6分野から、地域が必要とする支援を選び、住民とともに取り組みます。そして、住民たちが自分たちの力で課題を解決できるようになり、飢餓がなくなれば、支援は終了。また、その手法や成果が、周辺地域や国全体にも広がることをめざします。



「誰もが安心して
食べられる世界」のために、
4つの活動をしています。

2. しくみを変える

国際的な食料価格高騰による食品の値上がり、地球温暖化による不作などは、貧しいひとびとが食べ物を手にする機会を奪っています。このような、人間が作り出した「地球規模の課題」も、飢餓の原因のひとつです。これらの課題の解決に必要な政策や国際ルールが整備されるよう、HFWは、世界中のNGOなどと協力・連携し、国際会議や政府機関などへの提言活動を行っています。



3. 気づきをつくる

飢餓の要因のひとつでもある地球温暖化や食料廃棄の問題は、日本も無関係ではありません。HFWは、日本全国で私たちの暮らしや食生活と飢餓とのつながりを伝え、解決するために考え、行動を促すための活動をしています。また海外の活動国では住民の自立が解決のカギ。住民たち自身が主役であることを伝え、自ら生活環境を変えていけるようサポートしています。

4. 若い力を育てる

若者ならではの力を、飢餓の解決に向けて発揮し、そして、未来の担い手として成長できるように。世界5カ国でHFWの青少年組織である「ユース・エンディング・ハンガー」(YEH)を支援しています。日本では全国各地で、学生が中心となってチャリティイベントや啓発活動を実施。海外の活動国では、その国の若者主体の地域開発や啓発活動を行っています。



世界とつながる、 私たちの食

食べ物は 十分にあります

世界で生産されている穀物を平等に分けたら、一人当たりの量は日本人が食べている量の約2倍です。

生活を左右する 国際市場の価格

食べ物を輸入に頼っている国が多い開発途上国。国際市場で価格が変動すると、影響を受けてしまいます。

世界に頼る、 私たちの食

私たちが食べているものの半分以上が、海外から輸入されています。

半分以上が食べることに 以外に使われる穀物

世界で消費される穀物の約半分は、直接食べることに使われています。

食べ物の生産を 危ぶむ気候変動

雨水に頼った小規模の農業を行っている人が多い開発途上国。雨の降り方が収穫量を大きく左右します。

資源までも 奪われていく

先進国の中には、食べ物を生産するために必要な土地までも買い押さえようとする動きが出てきています。

世界中の 資源も消費

食べ物を生産するためには、土地や水などの資源が必要です。

大量に 捨てられる食べ物

日本では、まだ食べられたはずの食べ物がたくさん捨てられています。

